

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表  
集計結果

はい・○ どちらともいえない・△ いいえ・× 該当事象がない・-

令和6年2月10日

スタッフ氏名	A	B	C	D	E	F	コメント
<b>環境整備・体制整備</b>							
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	○	○	○	○	○	△	児童の年齢や人数、活動内容によっては狭く感じることもある。外で思いきり体を動かせる機会を設けている。
2 職員の配置数は適切であるか	○	○	○	○	○	○	
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	○	○	○	○	△	段差はなく、トイレ内も広く手すりもついている。車椅子の児童も問題なく過ごすことが出来ている。
<b>業務内容</b>							
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○	○	○	○	○	○	毎朝の申し送り、全職員が参加する月1回の会議にて取り組んでいる。
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	○	○	○	△	○	○	年に1度のアンケートにより意向を把握し、改善につなげている。
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	○	○	○	○	○	ホームページに公開している。
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	△	△	△	△	△	△	現在は実施していないが、本部による定期評価は実施している。
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	○	○	△	○	△	△	本部が開催している事例検討や研修などに積極的に参加している。
<b>適切な支援の提供</b>							
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○	○	○	○	日々の支援記録や保護者とのやり取りを基に、個別支援計画の更新をしている。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	△	○	○	○	△	
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○	○	○	△	○	職員全員でイベントの立案をしている。日々のトレーニング内容は担当職員が考案し、共有している。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○	○	○	○	○	内容に偏りがなく、職員間で話し合いを行っている。本部から提供されている教材やインターネット、過去のプログラムを参考に、内容を工夫して立案している。
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	△	○	○	△	○	○	課題は達成するまでは基本的に同じだが、アプローチは状況に応じて変えている。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○	○	○	○	
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○	○	○	△	○	トレーニング内容の共有、役割の把握を行っている。
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	○	○	△	△	△	△	就業時間の都合上、当日に振り返りを行うことが難しい日もあるが、その場合は必ず翌日の申し送りで行っている。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○	○	○	○	○	全職員が研修に参加し、正しい記録のとり方に努めている。
18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○	○	△	○	○	日々の直接支援や支援の記録、保護者との共有を通して、必要に応じてその都度見直しを行っている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○	○	○	○	○	○	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○	○	○	○	△	
21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎対応、トラブル発生連絡)を適切に行っているか	○	○	○	○	△	△	学年だより等を毎月共有していただいている。また、行き渋りが見られた際は学校から共有を頂くなど連携を取っている。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	△	△	△	△	△	△	医療的ケアを必要とする児童は少ないが、保護者を介しての連絡体制となってしまう場面が多い。
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を促しているか	○	○	○	△	○	△	おさえん教室の未就学児が利用になる際には情報の共有を行っている。その他に関しては、保護者からの情報共有が多い。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	△	○	○	△	○	△	
25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○	○	△	△	△	必要に応じて情報共有をしている。
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	×	×	×	×	×	×	
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	×	×	×	×	×	×	
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	○	○	○	○	○	お迎え時に状況や様子の共有、必要に応じて面談や電話でも共有している。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	△	△	△	△	△	△	個々のご相談に対しては出来ている。
<b>保護者への説明責任等</b>							
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	○	○	○	○	体験やご契約時に丁寧な説明を行っている。変更があった場合にはその都度説明を行っている。
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○	○	○	○	○	お電話や面談にて対応している。
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	×	×	×	×	×	×	コロナも落ち着いてきたため開催を検討中。
33 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	○	○	○	○	○	
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	○	○	○	○	○	保護者向けの広報誌(ハッピーテラス通信)で発信をしている。
35 個人情報に十分注意しているか	○	○	○	○	○	○	職員全員の共通認識として、個人情報の取り扱いには慎重に行っている。
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	○	○	○	○	○	毎日の保護者対応にて、利用時の様子をお伝えしている。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	○	△	○	-	近所の飲食店をトレーニングの一環として利用するなど、可能な範囲でかかわりを持っている。
<b>非常時等の対応</b>							
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	○	○	○	△	△	○	マニュアルは策定し、全職員への周知は行っているが、保護者への十分な周知はまだ出来ていない。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	○	○	○	○	○	半年に1回、防災訓練を行っている。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	○	○	○	○	△	○	3か月に1回事業所内研修を行い、全職員が参加している。また、本部で開催される研修にも積極的に参加している。
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	○	○	○	△	○	身体拘束委員会を開催し、必要に応じて保護者の方に了承を得ている。
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	△	○	△	△	△	△	把握済みだが、アレルギーの数値等までは把握できていない。再度集計し、対応を練る必要がある。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	○	○	○	△	○	ヒヤリハット事例についても日々検討し、職員間で共有している。